

受付	No.	第43回北信越国民体育大会			
	印	諸連絡用紙		報告者:	
競技No	1-1	競技名	水泳競技(水球)	期日	7月31日
※右欄に「選手交代」「プログラム訂正」など表題を明記ください。		昨日の結果の訂正			
<p>〈連絡内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日お送りした水球1日目結果は、勝点が「○勝ち(2点)」で計算されていましたが、正しくは「○勝ち(3点)」でした。ご訂正申し上げます。 ・本日お送りする水球最終日結果では、1日目の結果を「○勝ち(3点)」で計算したものに訂正しております。 ・なお、1日目の結果の順位には変動はありません。 ・昨日の結果についても、HPにて変更したものを掲載します。 					

受付No	第43回北信越国民体育大会 結果(2日目)			報告者氏名:	
競技No.	1-1	競技名	水泳競技(水球)	期日	7月31日
種別	女子		会場名	福井県営水泳場	

丸数字は本大会出場

	A 石川県	B 新潟県	C 富山県	D 県	E 県	勝点	得失点差	総得点	順位
A 石川県		× $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \\ 1 & - & 2 \\ 4 & - & 1 \end{pmatrix}$ 5 8	○ $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 4 & - & 0 \\ 4 & - & 1 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 15 1						
B 新潟県	○ $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \\ 1 & - & 4 \end{pmatrix}$ 8 5		○ $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 11 1						
C 富山県	× $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 4 \\ 1 & - & 4 \\ 0 & - & 5 \end{pmatrix}$ 1 15	× $\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ 1 & - & 3 \\ 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 1 11							
D 県									
E 県									

【勝点】 ○勝ち(3点) ×負け(0点) △引き分け(1点)

受付No	第43回北信越国民体育大会 結果(2日目)			報告者氏名:	
競技No.	1-1	競技名	水泳競技(水球)	期日	7月31日
種別	少年男子	会場名	福井県営水泳場		

丸数字は本大会出場

	A 石川県	B 長野県	C 新潟県	D 富山県	E 県	勝点	得失点差	総得点	順位
A 石川県		○ $\begin{pmatrix} 9 & - & 1 \\ 7 & - & 1 \\ 11 & - & 2 \\ 6 & - & 2 \end{pmatrix}$ 33 6	○ $\begin{pmatrix} 3 & - & 2 \\ 5 & - & 3 \\ 4 & - & 2 \\ 4 & - & 3 \end{pmatrix}$ 16 10	○ $\begin{pmatrix} 2 & - & 4 \\ 6 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \\ 2 & - & 3 \end{pmatrix}$ 12 10	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	9	35	61	1
B 長野県	× $\begin{pmatrix} 1 & - & 9 \\ 1 & - & 7 \\ 2 & - & 11 \\ 2 & - & 6 \end{pmatrix}$ 6 33		× $\begin{pmatrix} 0 & - & 4 \\ 1 & - & 4 \\ 1 & - & 6 \\ 0 & - & 6 \end{pmatrix}$ 2 20	× $\begin{pmatrix} 1 & - & 9 \\ 1 & - & 5 \\ 2 & - & 7 \\ 0 & - & 10 \end{pmatrix}$ 4 31	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	0	-72	12	4
C 新潟県	× $\begin{pmatrix} 2 & - & 3 \\ 3 & - & 5 \\ 2 & - & 4 \\ 3 & - & 4 \end{pmatrix}$ 10 16	○ $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 4 & - & 1 \\ 6 & - & 1 \\ 6 & - & 0 \end{pmatrix}$ 20 2		○ $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \\ 1 & - & 2 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$ 8 5	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	6	15	38	2
D 富山県	× $\begin{pmatrix} 4 & - & 2 \\ 1 & - & 6 \\ 2 & - & 2 \\ 3 & - & 2 \end{pmatrix}$ 10 12	○ $\begin{pmatrix} 9 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \\ 7 & - & 2 \\ 10 & - & 0 \end{pmatrix}$ 31 4	× $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \\ 2 & - & 1 \\ 0 & - & 4 \end{pmatrix}$ 5 8		$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	3	22	46	3
E 県	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} - \\ - \\ - \\ - \end{pmatrix}$					

【勝点】 ○勝ち(3点) ×負け(0点) △引き分け(1点)

受付	No.	第43回北信越国民体育大会			
	印	最終成績報告用紙		報告者:	
競技No	1-1	競技名	水泳競技(水球)	期日	7月31日
種別	女子	会場名	福井県営水泳場		

順位	県名	本大会出場
1位	新潟県	○
2位	石川県	○
3位	富山県	
4位		
5位		

- * 本大会出場権を得た県には、○印をつけてください。
- * 順位をつけられない種目は、順位の欄を消してください。
- * リーグ戦表、トーナメント表、成績表など
結果をまとめた書類も、合わせて送付してください。
(競技別プログラムの該当ページに結果を記入した表)

〈備考〉

--

受付 No.	第43回北信越国民体育大会			印	最終成績報告用紙	報告者:
	競技 No	1-1	競技名			
種別		少年男子	会場名		福井県営水泳場	

順位	県名	本大会出場
1位	石川県	○
2位	新潟県	○
3位	富山県	
4位	長野県	
5位		

- * 本大会出場権を得た県には、○印をつけてください。
- * 順位をつけられない種目は、順位の欄を消してください。
- * リーグ戦表、トーナメント表、成績表など
結果をまとめた書類も、合わせて送付してください。
(競技別プログラムの該当ページに結果を記入した表)

〈備考〉

競 技 規 定

1. 競技規定は、2022年度(公財)日本水泳連盟水球競技規則による。

2. 試合方法は、参加チームによるリーグ戦とする。

3. 勝敗、順位の決定は以下のとおりとする。

ア) 勝ち点制とし、勝者に3点、敗者に0点、引き分けは両者に1点ずつ与え、合計勝ち点の高いチームを上位とする。

イ) 各リーグ内で、勝ち点と同点のチームが生じ順位が決定できないときは、「タイブレイク方式」にて順位を決定する。

【2 チームが並んだ場合】

- ① 直接対戦成績
- ② 対象チーム以外の最高順位チームとの得失点差、次に得点
- ③ 依然として同点の場合は次の順位のチームとの得失点差、次に 得点の順で比較する。
- ④ それでも同点の場合は 5 名の選手によるペナルティシュートにより順位を決定する。ペナルティシュート戦は、そのラウンド の最終試合または最も適切な機会に行う。

※勝ち点同点が 2 組以上ある場合、上位の組から順位を決定する。

※同条件の場合は複数チームで比較する。

(例) A、B が 1 位で、C、D が 3 位で並んだ場合、A と C、D の対戦成績、B と C、D の対戦成績を比較する。

【3 チーム以上が並んだ場合】

- ① 当該チーム間の直接対戦成績（勝ち点、次に得失点差、得点の 順で比較する）
- ② 対象チーム以外の最高順位チームとの得失点差、次に得点
- ③ 依然として同点の場合は次の順位のチームとの得失点差、得点の順で比較する。
- ④ それでも同点の場合は 5 名の選手によるペナルティシュートにより順位を決定する。ペナルティシュート戦は、そのラウンドの最終試合または最も適切な機会に行う。

(例) A が B のゴール、C のゴールにシュートを行う。次に B が A のゴール、C のゴール、次に C が A のゴール、B のゴールにシュートを行う。(シューターが連続で相手 2 チームにシュートを行う) シュートの順番はトスで決められる。

※勝ち点同点が 2 組以上ある場合、上位の組から順位を決定する。

※同条件の場合は複数チームで比較する。

※対象チームが 2 チームになった時点で【2 チームが並んだ場 合】の①に戻り順位を決定する。

(例) 当該チーム間の得失点差が A=+1、B=0、C=-1 の場 合、A の 1 位が確定する。

B と C は直接対戦成績に戻るため、C が B に勝っている場合は C が 2 位、B が 3 位となる。

ウ) 棄権の場合は、0 対40で敗戦とする。

4. 第77回国民体育大会への北信越ブロック代表チーム数

少年男子 2チーム 女子 2チーム